正しい使い方

温度調節のしかた

① 電源コードを入れると電源が自動的に入ります。

② 温度アップボタン ▲ と、温度ダウンボタン ▼ を同時に数秒押します。

③ 温度表示部が点滅します。表示部の点滅は数秒間のみです。点滅時にのみ温度の設定が可能です。

④ 温度アップボタン ▲ または 温度ダウンボタン ▼ を使用して、お好みの設定温度を表示させます。

⑤ 設定温度を表示させたら数秒後に自動設定されます。

⑥ しばらくすると庫内が設定温度となります。

製品温度に関する不具合が発生した際は、表示部に「EE」、「E1～E4」、「LL」「123」「456」といったエラー表示が発令されますので、サポートセンターに修理をご依頼ください。

温度表示と庫内温度について

- 温度表示は、庫内下部付近の冷気送風口付近から温度センサーあたりの「現在温度」を表示しています。
- 庫内はワインを満タンにすると最大で3～5℃程度上下に温度差が発生しますが、製品特性上やむを得ない温度差であることご了承ください。
- 表示温度は、設定温度±最大2℃を目安に表示が頻繁に変わりますが、これはコンプレッサータイプの運転による通常の反応です。

お客様がご準備された温度計と製品の表示温度が一致しない場合があります。製品に搭載された温度センサーの位置や抵抗値と、他の温度計が感知した温度センサーの位置や抵抗値によっては温度が4℃～5℃程度差が出る場合があります。

扉パッキンについて

- パッキンと製品本体間口部分に結露などが発生した場合、保証規定に基づき、パッキン交換および、扉の調整をさせていただきます。

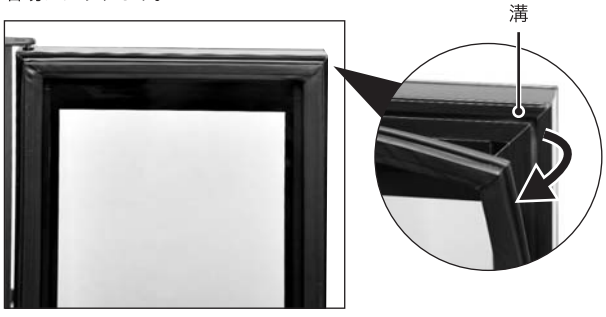
FURNIELのワインセラーは、背面の空気交換穴を通して外の空気を取り込む「うるおい循環冷却方式」を採用しています。そのため、製品の構造上、庫内は密閉されていません。また、庫内奥に設置してあるファンを用いて庫内の冷気を循環させていますので、ガラス扉付近である庫内手前の空気はほとんど動きません。(ワインのボトルを冷やすためには十分な循環です。)そのため、パッキンに隙間が数cm程度生じた場合ワインセラーとしての性能に影響はありませんので、安心してご使用ください。

◆ SAB-50G／SAB-90Gの扉パッキンの交換方法

※弊社による交換の必要がなく、お客様がご自身で交換する場合。

① 扉を開け、扉パッキンをはずす。

扉パッキンは扉裏側の溝にはめこんでありますので、引っ張ると容易にはずれます。



② 新しい扉パッキンを取り付ける。

扉の溝に沿って新しい扉パッキンを取り付けます。取り付ける際に無理に扉パッキンを引っ張ったりしますと破れることがありますのでご注意ください。

③ 扉を閉め、扉パッキンをなじませる。

扉パッキンにはマグネットが入っていますので、扉を閉めてしばらく時間を置くとなじんできます。もし、なじまない場合は、扉パッキンにドライヤーで熱を加えたり、ほぐしたりするとなじみます。

鍵穴

- 鍵を掛けることにより扉のロックが可能です。万一の震災等でも、扉の開放によるワインの転落を防止します。
- 鍵は防犯用ではありません。
- 鍵がロックされていても扉は僅かに開きます。
- 鍵の修理は保証期間に関わらず有償となります。

⚠ 注 意

扉のロック時に扉を引かないでください。
鍵が破損し、故障の原因となります。

鍵を差したまま前後左右に鍵穴を動かさない。
ガラス破損の原因となります。

庫内灯

- 庫内灯はLEDを採用しています。長寿命、省エネ設計となっていますが、LEDライトの常時点灯はお控えください。
- LEDライトの修理は保証期間に関わらず有償となります。

警報機能発令時

- 警報機能が発令された場合、電源ボタンを数秒押して電源OFFにします。。
  E1—E4 もしくは、EE、LL、HHが表示部分に発令された場合は、電源を一度抜いてから、しばらく時間を置いて再度電源投入をお願いします。
  それでも、改善されない場合は、弊社サポートセンターまでお問合せください。